

ハクサンゴザクラ

Primula cuneifolia Ledeb. var. *hakusanensis* (Franch.) Makino
サクラソウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

産地局限。

分 布

本州（飯豊山～白山までの日本海側の亜高山帯～高山帯）。
県内では大野市での記録がある。

種の特徴

亜高山～高山の湿地や雪田の融雪地に分布する多年草。葉はやや多肉質で根茎に束生する。葉身は倒卵状くさび形、上部にふぞろいのとがった鋸歯がある。7月頃、高さ5～15cmの花茎を伸ばし3～6個の花を散形につける。花冠は紅紫色で径約2cm、深く5裂する。

生育を脅かす要因

園芸採取、踏圧。

参考文献 福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

ガンコウラン

Empetrum nigrum L. var. *japonicum* K. Koch
ツツジ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は1箇所である。前回の調査では取り上げられなかったが、県内での生育地が亜高山帯に限られているため、絶滅危惧Ⅱ類とした。

分 布

北海道～本州（中部以北）に分布。県内では、大野市で確認されている。

種の特徴

高山に生える常緑の小低木。茎は細く、地をはい、多くの枝にわかれ、密に葉をつけてマット状となる。葉は互生し、革質、線形。雌雄異株。5～6月頃、葉腋に花を1個ずつつける。果実は球形の液果で黒色、直径6～10mm。

生育を脅かす要因

生育地である亜高山の植生の変化。温暖化による生育地の減少。登山道整備への注意が必要である。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

シラタマノキ

Gaultheria miqueliana Takeda
ツツジ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は2箇所である。前回の調査では取り上げられなかったが、県内での生育地が亜高山帯に限られているため、県域絶滅危惧Ⅱ類とした。

分 布

北海道～本州（中部以北および伯耆大山）に分布。県内では、大野市で確認されている。

種の特徴

深山の日当たりのよい乾いた岩地に生える常緑の小低木。茎は地をはい、上部は斜上して高さ10～20cm。葉は互生して革質、楕円形で、裏面は白みを帯びる。6～7月頃、茎の上部の葉腋や枝の先から2～6個の花をつける。果実は球形、白色で、径約1cm。

生育を脅かす要因

生育地である亜高山の植生の変化。温暖化による生育地の減少。登山道整備への注意が必要である。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、福井県植物研究会編（1999）
福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	